

# 夏休み

岐阜協議会・岐山地区部会 岐阜市委員会

## 子ども人権パネル展

岐阜市・メディアコスモス 8月13日(水)～15日(金)

今年の夏は、例年にも増して猛暑の夏となりました。

今年も岐阜市人権擁護委員会では岐阜市人権啓発センターと連携し、岐阜市・みんなの森 メディアコスモスで「夏休み 子ども人権パネル展」を実施しました。

開催日が、お盆の最中でもありましたが、涼しい館内で涼を求めて過ごす方、夏休みの宿題や研究課題をまとめる小中学生、自主勉強の高校生など、多くの子ども達や市民の皆さんに来館、閲覧していただくことができました。



岐阜市が募集した、小中学生のポスターや作文、詩や標語等の様々なパネルの展示物に見入る来館者



人 KEN まもる君や人 KEN あゆみちゃん、岐阜市の人権マスコットキャラクターあったかハートちゃん等の「ぬりえコーナー」は連日小さいお子さん家族に大好評でした。







会場メディアコスモス  
どきどき広場の様子

人権に関連した、童話や物語、絵本など人権図書コーナーでは、大人も子どもも、興味深く本に読み入る姿が多く、学校や幼稚園でも購入して子どもたちに読ませたいという声も聞きました。



**パネル展を見学、参加いただいた多くの市民の皆さんから、感想やご意見をいただきました。**

◆パネル展の中で印象に残った言葉や作品について

○「ほんのすこしのやさしさで『ありがとう』に変わるはず・・・今子育て中、妊娠中です。電車やバスの利用中に何度も「すみません」言ったことを思い出しました。

○小学生の「想像力」という詩が素晴らしく、感動しました。結局、人権問題は「想像力」が一番大切なんだなと思いました。

皆が、「ああなったら、こうなったら」「これを言ったら、こんなことをしたら」、気持ちのままに行動する前に、一度立ち止まって考えてみる・・・そういうことができるようになればと思いました。

○「その投稿、本名出して言えますか？」今まさに、この言葉が必要だと感じています。相手に分からないからと、言いたいことを節度なく発するのはどうかと思います。SNS は怖さと便利さの両方です。子どもが心配です。

○人権に関するポスターの絵と言葉が、自分の娘たちと同じ年齢の子たちが描いたものでとても印象に残りました。

\*とても、紹介しきれないくらいの、多くのご意見や感想をいただきました。そのほんの一部を紹介させていただきました。12月の人権週間中のパネル展の参考にしたいと思います。